

【がん種】 [多発性骨髄腫](#)
 【レジメン名】 DMPB③10コース目～
 【登録番号】 011347
 【1コースの期間】 3週間
 【総コース数】 PDまで (DMPB②2～9コース目 終了後から)
 【催吐性リスク】 軽度:ダラザレックス
 【抗がん剤の組織障害性】 ノンビシカント(非壊死性):ダラザレックス
 【投与量に制限のある薬剤】 なし
 【主な有害事象】 編集中

【必要な検査】 編集中
 【根拠論文】 N Engl J Med 378:518-528, 2018.

【点滴の時間】 [day1]初回 約8時間50分, 2回目 約6時間20分, 3回目～約5時間30分
 【費用】 編集中
 【その他】 ダラザレックス:正式採用品ではないため「限定使用薬品申請書」の薬剤部への提出が必要. 調製後15時間以内に投与を終了する.
 治療開始前に間接クームス試験を実施する(最終投与から6か月後までは、検査結果が偽陽性になるおそれがあるため).

Rp	薬剤名	量	投与方法	投与時間	投与日		
					1	...	28
1	生理食塩液 250mL	1 B	メイン	キープ&フラッシュ	○		
2	アセトアミノフェン錠 200mg	4 錠/回	内服	1日1回 ダラザレックス投与1時間前	○		
3	生理食塩液 50mL デカドロン注射液 6.6mg/2mL ポララミン注 5mg/1mL	1 B 3 V 1 A	側管	全開 開始時にアセトアミノフェン内服	○		
4	生理食塩液 100mL	1 B	側管	1時間	○		
5	生理食塩液 1000mL ダラザレックス点滴静注	1 B 16 mg/kg	側管	フィルター使用 全量1000mLに調製	○	初回	
6	生理食塩液 500mL ダラザレックス点滴静注	1 B 16 mg/kg	側管	フィルター使用 全量500mLに調製	○	2回目～	
	初回 50mL/hで開始し、1時間毎に50mL/hずつ速度を上げ、最大200mL/hまで						
	2回目 50mL/hで開始し、1時間毎に50mL/hずつ速度を上げ、最大200mL/hまで						
	3回目～ 100mL/hで開始し、1時間毎に50mL/hずつ速度を上げ、最大200mL/hまで						